



手と手をつなぎ 絆深める住宅へ



陽のあたる、交流の場



鮮やかな青がまぶしいトレーラーハウス



集会所の鍵の引き渡しを受ける  
大越憲一深谷行政区長

「地元村民と、新しく入居する  
住民が新しい集会所に集い、交  
流の場として活用していきたい」

**村で新しい生活を  
深谷拠点村営住宅 完成**

11月15日、道の駅北側に村が整備を進めてきた村営住宅・集会所の竣工式が行われ、関係者らがテープカットなどを行いました。

15戸の村営住宅には、村民はもちろん、村外の方も住むことができ、加えて住民同士が食事などをして交流できるトレーラーハウスや深谷行政区の集会所も新築されました。住居は、それぞれ異なるデザインでカラフル。11月時点で12戸の入居が決定しています。



多目的交流広場を含む公園のイメージ図

### 進んでいます 復興拠点

深谷復興拠点には、すでに太陽光発電施設、「いいたて村の道の駅までい館」、花卉栽培施設が完成しています。今回村営住宅が竣工したのに続いて、2020年には多目的交流広場を含む公園が完成する予定です。



幻想的な雰囲気で行われたYaeさんミニコンサート

### までい大使、活躍中です!

村は、平成23年から「飯舘村までい大使」をゆかりのある著名な方々に委嘱しています。までい大使の皆さんには、村の魅力の発信や村づくりへの助言などさまざまに協力いただいています。

10月に行われた、までい大使関連のイベントをご紹介します。



### までいの村に 歌声響く

10月26日、「いいたて村の道の駅までい館」で村までい大使の歌手・Yaeさんによるミニコンサートが開かれました。Yaeさんは、ライトアップされた花玉の下で、村をテーマに自身が作詞・作曲した「ともに歩こう」などを心に優しく響く歌声で披露しました。

コンサートの後には、Yaeさんが来場者とゆったりと言葉を交わす姿も見られました。

### 和の心を学ぶ

11月3日、交流センター「ふれ愛館」で、村までい大使で日本料理店「分とく山（東京都）」総料理長の野崎洋光氏と、万葉学者・上野誠氏が「和の心を学ぶ」特別トークショーを行いました。

当日は、村づくりアドバイザーの建築家・佐川旭氏がコーディネーターをつとめ、料理と文学、建築の視点から、村の自然環境の豊かさ、生活文化の尊さが語られました。



### わんだフルまでい大使 じゃがいも!

11月18日、村出身の災害救助犬で、わんだフルまでい大使の「じゃがいも」が道の駅で災害救助のデモンストレーションを披露しました。

じゃがいもは現在、岐阜県にある日本動物介護センターで訓練等を行っています。道の駅では、倒壊した家屋の下敷きになった人を発見する訓練を実演しました。

